

## 今月の本棚

著者は各地の地域活性化プロジェクトを見出し、支援し、広げる活動を全国規模で行っている。その成果はロングセラーの『田舎力』などの著書で紹介されている。本書では「食」でつながるプロジェクトを取り上げている。地元の食材を活かした加工品や料理を生み出し、地域に新たな絆をつくり雇用や起業を促すこととなったレストランカフェ。少量多品種の農産物をレシビ添えて直接宅配する農家。消費者の声を聴き生産者の物づくりを支援する流通の新しい担い手。生産者と消費者をつなぐ地域発信型のセレクトショップ。農家、漁師が直接持ち込む鮮度が売りの人気の「道の駅」。地域の文化や歴史が感じられる手料理民宿など。そこにしかない、そこだけの味を求めたこれらの取り組みは、多くの消費者、バイヤー、料理人たちの支持を集め、確実に売り上げを伸ばしている。本書に登場するのは、その担い手たち。農家、料理人、流通業者、主婦、彼らを支える行政側等多士済々。

高齡化率日本一の島に登場した人気のジャム屋さん、瀬戸内ジャムズガーデン——山口県周防大島町。酪農を観光に変えた池田牧場。里山の牧場に行列ができる絶品のジェラート——滋賀県東近江市。手塩にかけて育て、伝える多品種の完熟野菜。イチ押しレシビで販路を開拓——北海道上士幌町。一次、二次、三次産業、足すと六次産業。農家の本気を引き出した食品加工会社——会津若松市。全国平均の5倍稼ぐ道の駅。人気の秘密は漁師の直売——福岡県むなかた市など。いずれもが、流通が拡大し市場が画一化するなか、改めて地域の特性、個性にスポットを当て、人と人がつながる仕組み、人と地域がかかわる仕組みをさまざまな形で提示してくれる。

**美味しい田舎のつくりかた**  
地域の味が人をつなぎ、小さな経済を耕す

金丸弘美著 学芸出版社刊 定価1,800円(税別)

